

会報 SHINSHIYOU

神私幼

平成19年9月1日

第161号

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 渡邊 眞一
 編集人：神私幼総務部(広報室)

〒221-0011 神奈川県横浜市神奈川区神之木台22-14
 県青少年課神之木台分館内
 TEL.045(430)3102 FAX.045(430)3103

二期期そうそうの会報の発行です。広報室の先生方の熱心な活動に頭が下がります。

さて二期期は運動会、遠足、発表会、各種の行事、そして園児募集と、一年中で一番園運営内容が濃い時期かと察します。

一園一園が地域の幼児教育センターの役割を十分に果たしたものです。連合会もあと七ヶ月をもって今期が終わります。事業計画を中心とにかく精一杯の運営に努めてまいります。ご理解とご協力、お願いします。

■設立60周年に向けて

ところで連合会は来年度設立六十周年を迎えます。昭和二十三年七月、二十三園の少教会員をもって「神奈川県幼稚園協会」が設立され、昭和二十七年「神奈川県私立幼稚園協会」と改組しました。そして昭和四十四年、「幼児教育充実、私立幼稚園振興をもって、幼児たちを健全に育てる使命が団体の主目的である」として、社団法人「神奈川県私立幼稚園連合会」を十二地区の協会の連合組織に再度改組し、今日に至りました。連合会としては、六十周年行事を平成二十年七月三十一日(木)パシフィコ国際会議場にて開催すべく六月二十九日、準備委員会(委

員長/副会長・森本 惠美 等をたちあげ準備に入りました。国際会議場は五千人収容の大会場です。当日

は若い先生方にとって「楽しい会」にしたい！そして多くの先生方には「近未来を考える研修の機会」にしたい！そんな思いを込めた大会になります。先生方のご意見をお待ちします。

■夢を現実のものへ
 次に連立会では「幼稚園会館」を自前で持ちたい：と、元会長の佐保田先生の時代から、年々、積立金を続けてきました。一方、平成十年には横浜駅東口に六十一坪の土地を確保、現在は貸し駐車場として活用し、その収益も積立金の一部になっています。この土地を有効活用し幼稚園会館を建設するか、この土地を売却し改めて新しい土地を横浜駅近郊に求めるか、更には大きなマンションが建築され



会長 渡邊 眞一

活気ある第二学期へ

の際、ワンフロアーを幼稚園会館として考えるか…。いずれにしろ県連としてはここ数年のうちに、佐保田先生の夢、会員の願いを現実したいとの思いから、検討委員会を正式にスタートさせました。

建物としての幼稚園会館、県連運営拠点としての幼稚園会館、研究・研修活動拠点としての幼稚園会館、研究室を兼ねた幼稚園会館、そして県全域を対象とした教育・保育機能を有した幼稚園教育センター的役割を担う幼稚園会館など、多種多様な機能を持つ会館づくりを目指したいと考えます。

■新たな課題への対応

教員免許の更新制導入などを盛り込んだ教育関連三法が成立しました。免許更新制は二〇〇九年四月にスタート。免許は新たに十年の有効期限を設けました。(更新には期限満了までの三年間のうち二年間の間に三十時間以上の講習が必要です。)詳細は政省令で定めるため現在

文科省がその作業を進め今年度中にまとめるようです。県連としてこの問題にどのような対応をすべきか、頭の痛いところと話し合いの機会を持ちたいと考えます。

全日私幼連が研究財団を設立した目的の一つが、教員免許更新を私幼の責任で対応したい！が目的でした。国は四年制大学の教員養成大学を中心に今後の政策を明らかにしてくるものと思いますが、実際のところは県教育委員会がどのような動きをするのか注視しつつ、私幼としての対応などを今から検討しておく必要があると考えます。

■厳しさを増す求人環境

連合会としては会報一五八号でも記しましたが、公益法人制度改革に伴う「法人」の在り方についての検討を深めていきます。また九月頃には改訂・幼稚園教育要領が明らかになるかと思えます。速やかに内容などをお知らせしたいと念じます。最後にひと言ですが、新規教員採用を含む、幼稚園教諭の求人が急速な勢いで厳しくなっています。今秋の二十年度求人対策はとにかく早めに対応されることを強く望みます。

特集

1

私はこう思う、園児募集を直前にして

誰のための園児募集か

通う幼稚園から 憩う幼稚園へ

県連理事 角和一太郎

(横浜・ニューライフ幼稚園長)



常に仁義(道義、道徳を先ず考える)を大切にすることを考える。教育機関としての幼稚園が心すべき仁義はよりよい教育を實踐する力を磨いているか否かに尽きる。よりよい教育を實踐するためには、園長以下、教職員が固い信頼の絆で結ばれている環境が築かれていなければならない。

■すなわち、園児募集とは、園内の信頼の絆を確認すると同時に、日頃の精進の結果を堂々と公開して、社会の信頼を問う機会であると考えたい。骨太の方針が執行されてから右往左往、園児募集の時期になって上がり目、下がり目の猫目対応ではとても

利はついてこないし、永續性もないだろう。■昨今の教育関係法の改正は、幼稚園が主役になった観がある。特に学校教育法の改正により、学校の学びが幼稚園に始まり、大学に到るまでが、連続した教育の場として体系化されたことは、歴史的なことといえよう。このことは良きにつけ悪きにつけ、幼稚園と大学が影響し合う関係として明確化された、ともいえる。今、都心の大学が志向している戦略に「通う大学から暮らす大学へ」(青山学院大学・武藤学長)という傾向がある。「通う幼稚園から憩う幼稚園へ」の時代も遠くないような気がする。

報道によると全国の地方大学の経営難が深刻化している、という。原因は少子化による学生数の減少にもよるが、「骨太の方針」により、平成十八年度から運営費交付金が年間一パーセントの削減が実施されたことによる。追いうちをかけるように「評価制度」が導入され、研究成果の判定如何で交付金額が左右されることになり、地方大学の生命線ともいえる基礎研究の取り組みにも影響が出ている、と報じた。こうなるとまさに優

生活がしやすい地域なのか分かりませんが、神奈川県も大阪を抜いて東京に次ぐ第二位になりました。そうすると横浜北部や川崎西部地域のように、分譲開発により人口が増え、幼稚園も足りず二日も前から入園するのに並ばなければ入園できない状態だと聞いております。我々の地域では、いかに園児の

現状維持をしていくにはどうしたらよいかこの時期になるといつも悩まされます。■これからは、自園の教育理念を基本にして子どもを主体に物事を考え、保護者の意見に耳を傾けながら、園に取り入れる事ができる物は取り入れて行く事ができれば、保護者と園とのつながりも密になり、園の理解も

将来を担う子どものために

県連理事 磯川 浩

(相和・倉見幼稚園長)

■毎年の事ながら今年も園児募集が二学期に入りますと始まります。ここ数年少子化により、子どもたちが大変少なく各幼稚園は経営的にも厳しく休園や廃園に追い込まれてきていました。

しかし、最近少しですが、相和地区では、園児が増えてきています。地域により、増えている所と増えていない所の差が出てきております。■最近、産業・経済が発展し、

勝劣敗、よほどの対策にめぐり合わない限り、じり貧に陥ることは免れない。選択と淘汰の時代を象徴する現象である。園児募集は不特定多数の保護者を対象に情報公開する絶好の機会でもある。とりもなおさず社会の信頼を問う機会でもあり、社会の外部評価を受ける機会ともいえる。

■孟子の言葉に「先義後利」という理念がある。「義を先んじて利を後にする精神」すなわち、目先の利益を追うのではなく、

深まると思います。そうすることにより園児が増えていければと思っております。まだまだ、自分の園さえ子どもが集まれば良いという設置者もいる様ですが、教育者として皆が協力して休園等せず、各園が将来を担う子どものために力をそそぎたいものです。

夢

と希望にあふれる扉を開けよう

県連理事 田淵恵美

(藤沢・もみじ幼稚園長)



■平成の時代になり早くも来年は二十年をむかえようとしています。この間、私立幼稚園を取り巻く環境は大きく変化してきました。働く女性の増加や晩婚化などにより少子化は進み、園の運営は厳しき状況にあります。

厚労省が次々と通達した数々のエンゼルプラン施策は、ほんとうに少子化対策であったのか疑問に思っているのは、私だけでしょうか。

■私の幼稚園は、江ノ島が望める閑静な鶴沼の住宅街にある小さな幼稚園です。このよう

な小さな幼稚園ではありませんが、在園する子ども達には、一度しかない大切な幼児期を充実して過ごして欲しいと大きく願っています。また、子ども達の日々の保育に当たる先生方には、

できるだけ支援したいと思っております。しかし、同じ幼稚園でありながらも一〇二条園ということで補助金には差があります。矛盾を感じながらも子どもたちの笑顔に感謝し、幼児教育に努めております。国や行政が何をしてくれるのではなく、我々が国や行政に対し何が、できるのかを考えていかななくてはいけないと常に思っております。

特集 2



経営管理部次長
横須賀協会長
田中 なごみ
(うわまち幼稚園長)

自園にふさわしい 学生の採用のためには 何が必要か

■そろそろまた来年度の幼稚園教諭の採用のシーズンがやってくる。

ここ一年の間に学校教育法や教育基本法の改正により「幼稚園」は学校教育の場であることが明確化された。そのため幼児教育に対して、将来携わろうとする学生や保護者たちの関心も

高まっているように感じる。しかし、一般的には幼稚園よりも保育所への就職希望が高いとも聞く。それは、国の施策でもあるように「待機児の解消」の波を幼稚園側が被っているといえる。

また、景気拡大が続く中、日本中の企業が人材の確保を重大な課題としている。

■こうした中で幼稚園側も自分の幼稚園にあったよりよい人材をと望むことになるのである。横須賀市私立幼稚園協会では例年七月の初旬に幼児教育の教諭を養成している短大、専門学

校や大学の各関係機関との懇談をし就職活動の一助にと連携を計っている。

■自園と言え先ず八月の末に退職希望の職員の意向の聞き取りをする。これは時期が早くても遅くても有効的ではない。養成校への求人募集を出す時期も大変むずかしい。早くても誰も応募してこない。教育実習をした学生は大きな資源ではあるが今はあまり期待が持てない。

■応募して来た人には園の教育方針、研修方法を説明し、園内を案内し、先輩の教諭との会話をする一時をもち、幼稚園への関心を高める。

Work Life Balance (仕事と私生活とのバランス)を大切に

した職場環境を向上させる為「就業規則」の見直しもあげられよう。

■学生にとっては就職した後の人間関係や仕事へのメンタルケアに心を配ってくれる職場であることも必要とされる。採用試験を済ませ、採用通知を二、三日後には出すが「採用承諾書」を手にしても現在の就職状況では四月一日を迎えなければ安心できないのは私ばかりではないのではないだろうか。

次年度県予算に 対する要望

振興部長

山口 繁美



月二十四日の
公明党に始ま
り、八月に入
り民主党・か
ながわクラブ・
県政会・自由
民主党とヒア
リングを続け
た。九月六日

■平成二十年度要望内容は、振興部会で原案をまとめ、その原案を常務理事会に諮り、要望書にまとめたものを理事会で説明、了承を受けた。この要望の実現には県議会各政党・会派の理解と協力を得る必要からヒアリングを受けなければならない。七月

には県民部長のヒアリングに
応じる予定である。ヒアリングは
会長の総括的な要望に始まり、
振興部長から項目別の説明をし、
質問を受ける形式である。この
席には正副会長、振興部長・次
長、総務部長、事務局長及び退
職基金財団からも理事長以下役
員が出席した。



8月2日 県庁新庁舎にて予算要望を力強く進める執行役員(夏の陣)

■今回の要望は経常費補助金が
他の都道府県の園児一人当たり
の補助額とかけ離れているとこ
ろから、この点を
重点に説明をして
理解を求めた。要
望書の内容は右記
の通りである。

■要望の実現には、
県当局はもちろん、
県議会各政党・会
派の県会議員諸氏
にも大いに協力を
いただく必要を感
じる。

研究特別委員会

B部会「保育を読みとる」

助言講師：若月芳浩先生

今年度は新規参加者8名、昨年から継続者を
含め計22名でスタートしました。

第1回は、保育場面のビデオを通じて、参加者
それぞれの考察を伝え合いました。講師の若月先
生から「保育者の子どもに対する見方には個人差
がある。だからこそ、多くの保育者それぞれの意
見を出し合って、子ども理解を深めていくことが
重要になってくる。他の保育者の意見に耳を傾け、
自分の思いを客観的に振り返ることができれば、
自分がその子に対して、何をどのようにしていけ
ばよいのかがみえてくる。」というお話をしてい
だきました。第2回以降は参加者が記録を持ち寄り、
より具体的に保育を振り返り、新たな見方に気づ
き次の保育につなげていけるよう読み取りを深め
ていく取り組みを行なっていきたいと思います。

椿 伊智郎 (相和・でんえん幼稚園)

● 一般補助

1 経常費補助金の増額

- (1) 標準的運営費の見直し
一職階とされている教職員割の算定を三職階（園長・主任・教職員）に分けた算定に改善。
- (2) 補助対象教員数の見直し
補助対象教員数の増。
- (3) 学校法人立以外の園に対する補助単価の増額。

● 特別補助

1 預かり保育補助金の充実

- (1) 補助単価の増額と専任教員を置かず実施している幼稚園に対する補助金の拡充。

2 地域開故事業補助金の充実

- (1) 本事業の補助金増額と、事業に取り組む全ての園に対して補助がなされるような施策の充実。
- (2) 学校法人立以外の幼稚園でこの事業に取り組んでいる園の補助対象園化。

3 ティーム保育補助金の充実

- (1) フルタイムの教員が補助対象教員となるだけでなく、パートタイムで働く教員も、雇用対策の上から補助対象となるようこの制度の拡充。

● その他の補助

1 連合会実施の研究・研修費の充実

2 障害児教育費補助金の拡充

3 幼稚園における危機管理体制の充実

- (1) 緊急通報システムの設置と同様に自動体外式除細動器（AED）の設置について補助金の継続と充実。

● 新規事業への取り組み

1 認定子ども園に対する積極的な取り組み

- (1) この制度の充実が補助制度の創設が必須である。

教育振興連盟の

現状と

今後の課題

■発足式も無事終え、改称後一回目の研修会を先日行った。会員の数も順調に増えている様子、皆さまのご理解とご支援のお陰としみじみ思う。

■多忙な国会の後、文部科学省の初等中等教育局長にわざわざ神奈川県までお出かけいただいたのは、ひとえに鈴木恒夫代議士のおかげである。やはり教育畑に長く関わり国会で活躍する議員の力は大きなもので、局長の話の端々に国の施策の方向性を感じとられたことと思う。

■この春には統一地方選挙、七月末には参議院選挙があった。結果は皆様ご案内の通りである。知事や県議員、市議員等はその地方の様々ないきさつや事情があつて、県下一束に応援の方向性をまとめることが難しい。特に近年は政党、人物にまだら模様がある上、各地区の利害も微妙に違う。そんな政治状況のなか、幼稚園振興のため、どんな役割を担っていったらいいのか、是々非々でお付き合いを

していく必要があるのかもしれない。議員、政党がどのような役割を担い、どんな仕事をしていくか、しっかりと見極めていかなければならないと思う。ニュースに出るだけでない、下積みの目立たない活躍もある。見る目の確かさも問われているのではないかと思う。

■県教育振興連盟として、政治勢力等への働きかけと同時に、研修会も企画したいと考えている。幼稚園振興や関連するテーマへの理解を深めるとともに視野を広めて、併せて親睦の機会ともなれば：と思っている。

■次回には、幼稚園の経常費補助金に関わることで、その大部分を占めている地方交付税の実態はどうなっているのか、などについて考えたいと思う。企画が整ったらお知らせしますが、何せお金のかからない企画しかできない現状ではある。会員の皆さまのご批判、叱咤激励、積極的なご意見もお聞かせいただきたいと願っている。

今年度発足した教育振興連盟の会員数は、現在のところ目標値に残念ながら達していません。各園の様ざまな哲学やお考えがあると思いますが、本連盟は私立幼稚園振興対策の重要な推進組織であり、この目的の神奈川における唯一の団体です。県連の事業目的達成の「仕組みの一つ」であることをご理解いただきながら、加盟園数80パーセント以上の入会率達成にご協力ください。《会員数＝組織力＝存在感で幼稚園教育振興活動を活性化し、行政や政治を動かしてまいります。》初年度まずはご入会（エントリー）頂きますようお願い申し上げます。

神奈川県私立幼稚園教育振興連盟 会員数 (平成19年8月21日現在 入会状況 347名)

協会名	会員数	協会名	会員数
横浜	181名	湘央	3名
川崎	69名	小田原	2名
横須賀	20名	相和	20名
藤沢	0名	相模原	24名
鎌倉	22名	逗葉	6名
茅ヶ崎	0名	厚木	0名



教育振興連盟会長
吉原久雄
(県連副会長)

研究部の底力 研究研修の成果

統合保育講座

第1回統合保育講座開催(6月22日)

6月22日、1回目の講座が横浜駅東口にある、ヨコハマジャストホールで開かれました。

今年度も横浜市東部地域療育センター、ソーシャルワーカーの上原 文先生に4回と関水 実先生に1回の講演をお願いしました。今年も、昨年と同様にこの講座に対する先生方の関心度がとても高く、申し込みを途中で打ち切らせていただきました、それでも会場に収容しきれない状態になり、ひとつの園で大勢の申し込みをされていた、数園に相談させていただき、人数調整していただき、開催する様な状態でした。

第1回目は、「配慮が必要な子どもたちへの理解と対応」の内容で、障害者の基礎的な、特徴・症状・行動パターンなど解りやすく事例をあげお話いただきました。参加した先生方も、一席の空のない状態でも最後まで集中され、2時間のお話がとても短く感じられました。

三橋 悦夫 (横浜・飯島幼稚園)



参加者の声

会場を埋め尽くした参加者の多さに圧倒されました。日頃、統合保育の必要性を感じていても、現場では具体的な対応方法に自信が持てないままでした。本講座では具体的な事例を豊富に取り上げていただけるので大変勉強になっております。

(担任5年目4歳児クラス教諭)

参加者数

第1回(6/22) 251名
第2回(7/13) 232名
(講師:上原 文先生)

次回以降開催

第3回(9/7)上原 文先生
第4回(10/19)上原 文先生
第5回(11/16)関水 実先生

6月22日 平成19年度 第1回 後継者育成研修会開催

■今年度、県連は後継者育成を今まで以上に私立幼稚園発展の重点課題と位置づけ、これを推進しています。この事業の充実と成果を上げるため、後継者育成研修会を従来の年一回の開催から年二回の開催に強化されています。六月二十二日開催の第一回研修会には県下十一協会から六十一名の参加者(左記に名簿を掲載)を得て実施しました。研修テーマは「人材確保のための雇用管理・労務管理について」で、社会保険労務士の坂口武三先生による「講演を全参加者が熱心に傾聴し、経営者として不可欠な勉強をしました。」

■本号では従来あまり会報では取り上げられなかった参加者の「声」を掲載しています。この編集意図は後継者育成重視の観点によるもので、学心側の感じ方、後継者の意欲や思い、或いは不安や葛藤など若き後継者特有の、誰もが抱く気持ちを受け止めながら、全会員が相互理解することをねらいとしています。県連では、次世代を担う若き後継者同士の繋がりをネットワーク化し、相互交流が自発的に行なわれる「機会」や「場」にする為、今後も継続的に全ての対象者が研修に参加して欲しいと考えています。

■今回も研修後の懇親会(自由参加)では、非常に活発に交流する姿がみられました。後継者集団の「渦」の中に自ら求めて参加し、相互関係(インター)化する事で仲間や有益な情報を獲得し、自園の発展に役立つことを願っています。

■次回開催予定の第二回は十一月十四日(水)です。尚、今年度は事業計画に予定されていた一月二十七日(日)・二十八日(月)開催の経営研修会を、後継者が参加しやすくするため二月二日(土)・三日(日)に設定し、既に理事会で決定しています。次回の研修会や二〇〇八年二月に又お目にかかれることを関係者一同心から楽しみにしています。

総務部広報室長 井上一彦

学びと交流を通じて自園の発展を確かなものに
後継者育成研修会に参加して

SUCCESSOR VOICE



横浜・みたけ台幼稚園 岡崎 愛先生

「何事も一歩足を踏み出してみないと分からないこともある」と、思い切って後継者研修会に参加してみました。少子化で事業の対象となる子どもの数が減るとい難しい時代に、これから幼稚園運営に携わっていかなくてはならない、正直不安もあります。それでも、毎日無邪気にまわりついてくる可愛い子ども達を見ていると、困難を乗り越えて幼稚園教育を自分の道として行こうという気にもなってきました。

これまで私を支えてくれた多くの人々との出会いを大切にしているように、これから出会うであろうもっと多くの人たちとの出会いを大切に、感謝を忘れずに、ゆっくりと取り組んで行きたいと思えます。研修会に参加すると多くの諸先輩方が同じ様に、それぞれの立場と場所で頑張っているのだなあと思えます。これからは宜しくお願い致します。

横須賀・横須賀幼稚園 鈴木 豊司先生



今後の幼稚園経営を考えるにあたり

私は昨年末に異業種から幼稚園の世界へやってきた。現在も以前の経営方針を未だ色濃く踏襲している園も少なくないであろう中、また私自身も暗中模索する中で今般の研修に参加させて頂き、坂口武三先生のお話を伺う機会に恵まれた。少子化が進み、経営環境も厳しさを増す状況において、園児そして幼稚園自体への最大還元を見出してゆくには、精鋭となるべく優秀なスタッフの採用とその育成は絶対条件だ。しか

茅ヶ崎・茅ヶ崎すみれ幼稚園 杉崎 直人先生

今回の研修を終えて、ますます厳しくなる幼稚園経営を痛感しました。今までは職員の雇用や労務管理に関してはありき通りの就業規則で対応し、新卒者へも求人票をただ学校へ提出するだけ現状でした。

最近では、職員・学生・保護者に至るまでインターネットを利用して幼稚園に関する良い情報も悪い情報も簡単に手に入れる事が出来てしまい、なおかつその情報を交換し合う時代になってしまっているようです。

今回の講習で、求人に関しては学生が有利な「売り手市場」になっているというお話でした。自園でも以前は多くの面接者が来園していましたが、ここ何年か少し減少してきたように思えます。また実習に来ていた、感触もあり評価も良かった学生が面接に来なかったりというのが現実です。これらの現実を深く受け止め、早めの学校へのア

川崎・柿の実幼稚園 小島 哲史先生



後継者育成研修会に参加して前回、前々回と2度ほど参加させて頂き、幼稚園を経営していくことの難しさ大変さを改めて実感致しました。今回この様な会を設けて頂き、ありがとうございました。この研修会を通し、一人では決して良い幼稚園は出来ない、その為に優秀な人材を確保し続けることの大切さ、そしてより良い先生へと育てていくことが如何に大切で難しいのか！その為にも、まずは自分自身の人を見る目を育て教職員と共に力を合わせていきたいと思えます。またこの研修会で、自分と同じ立場にある諸先輩方に出会い、色々な経験を聞けたり、悩みなどを話し共有できる機会はなかなか無いので大変ありがたく、とても有意義な時間でした。研修会を開催して頂いたことに改めて感謝すると共に、このような機会を利用し自分自身を成長させ、より良い幼稚園を作っていきたいと思えます。

し売り手市場の今日では、それは経済投資のみで解決される訳はなく、経営者自身の力量(努力と判断力)が大いに試される。ハード面の環境改善は言うまでもないが、ソフトとしての職場から信頼される明快な園内各規則の見直しや、遵守は至上命題だ。時代と職場ニーズに合った環境整備を恒久的に継続することで、園児・幼稚園へだけでなく、スタッフへの還元をも目途とした経営を実践し、一人でも多くの人たちに選んでいただける、喜んで頂ける幼稚園を作り上げて行きたいと強く実感した。

ブローチ、特色のある資料作りを心がけていきたい。また、たくさんの学生に自園を見てもらう為にも行事などお手伝いの募集や、在職の職員から卒業した学校へのアプローチなどもやっていきたい。しかし、これらをするにあたって、やはり「園内の環境作り」が一番重要である。職員・園児・保護者が毎日の幼稚園生活をいかに楽しく過ごせるか、また、充実させてあげられるかを常に考え、状況を把握し、早めの準備と行動を心がけていきたい。今後の目標は、関わったすべての人達が自園で良かったと思われる園を作っていきたい。最後に、講習会後、沢山の先生方との情報交換ではとても充実した時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

平成19年度 第1回 後継者育成研修会参加者

協会名	園名	氏名
横浜	すぎの森	吉野浩司
	平戸	小笠原裕
	あたご	岩崎暢之
	みなみ	相沢始
	上の原	金子貴明
	平和	安西透
	中野	長瀬薫
	相沢	松永敏秀
	初音丘	渡邊眞一
	富士塚	鈴野茂男
	中野	長瀬潔
	みたけ台	岡崎愛大
	横浜さがみ	苅込大
	左近山	河原成人生
	あけぼの	構木元生
	愛和	福岡和子
川崎	潮見台みどり	藤田聡
	新作やはた	宮田昌一
	太陽第二	井上一彦
	大楽	佐藤教寛
	川崎こまどり	仁藤一成
	中野島	浅谷学
	竹園	竹内聡晴
	柿の実	小島哲史
	寺尾みどり	小塚麻衣
	たちばな	鈴木正宏
横須賀	川崎めぐみ	鈴木淳
	横須賀若葉	竹折輝虎
	津久井	余郷聡
	うわまち	田中なごみ
	うわまち	田中貴章
	大津	室北篤郎
	南横須賀	長澤英子
	ぎんのすず	小出真堂
	ぎんのすず	小出純子
	横須賀	鈴木典司
藤沢	つかさ	沢野文生
	みくに	國尾俊
	秋葉台	小林春美
茅ヶ崎	茅ヶ崎松若	坂部直人
	茅ヶ崎すみれ	杉崎優栄
鎌倉	七里が浜	高橋宗志
	北鎌倉	富沢武光
	片岡	嶋村輝
湘央	大神美里	新藤健樹
	伊勢原立正	渡辺恵美
小田原	伊勢原百合	長塚愛子
	こゆるぎ	石川早子
相和	鴨宮	羽柴安樹
	海老名みなみ	米山茂史
	綾南	山崎仁亮
	綾南	深沢和夫
	綾瀬	橘川正範
	座間孝道	小多喜貢
相模原	綾瀬すぎの子	比留川信之
	ひばりが丘	三原俊輔
	みずほ	宮崎照親
	中中央	大貫雅人
厚木	淵野ひばり	八木直樹
厚木	ぬるみず	野津直樹

シリーズ 第3回 (全5回)

私の考える

県連合会

のあるべき

姿

副会長 森本恵美



必要な情報を正確・迅速に

幼稚園連合会のあるべき姿は、傘下の幼稚園から見ればあってほしい姿でもあります。

当たり前のことですが、一人、一園のみではできにくいこ

とを可能にするのが組織力であり、連合会の役目だと思えます。その役目として最も重要なこと

は、数多溢れんばかりの情報の中から必要なものを選び取り、

正確かつ迅速に会員へ伝達すること。加えて、私立幼稚園の盤

石な経営の要となる各種の条件整備、中でも補助金制度の拡充は連合会ならではの大きな役目です。これについては県当局との緊密な関係なくして実現は不可能です。

そのため、その任に当たる会長以下担当部の先生方は、多忙な中ご自分の時間を割いて力を尽くしておられます。補助金は

もらって当然と考えている人はいないと思いますが、強力な振興対策なしに増額など望むべくもありません。県当局や政党のヒヤリングに同席した一人として、その準備から対応の細部にいたるまで、担当される先生方

のご苦労には頭の下がる思いです。

ローコスト・ハイパフォーマンスへの転換

今や、ブロードバンド時代、園務もコンピュータなしには仕事は捗りません。また、過去

今は簡単に手にすることができるようになりました。私もメールを駆使して情報交換することが日常で、連合会関係者や事務局とのやりとりも同様です。

しかし、理事会や各部の会議はコンピュータ上という訳にはなかなかいきません。多様な価値観を持つ人達から一つの合意を引き出すためには、顔を会わせて話し合うことが必要です。

会議は少ないに越したことはありませんので、最小の負担で最大の効果を上げる方法を考えることが連合会にとって常の課題かと思えます。

組織の活性化は更新から

二年という役員任期は適切な区切りです。新陳代謝も含めて多くの方々が役員を経験することは連合会活動を理解する機会になり、協力することの意味を実感できます。

「役員はやりたい人がやればいい」ではなく、会員ならば誰もが交互に担うべき役割です。そのサイクルが軌道にのることによって、連合会組織はより盤石になるものと思えます。

今回は古郡副会長の予定

お知らせ

日程変更のお知らせ

毎年、開催しております「教育経営研修会」の日程が変更となりました。
 (当初の予定では、平成二十年一月二十七日(日)～二十八日(月)でした。)

今回は、設置者・園長先生はもとより、後継者の先生方にもご参加頂けるように土・日曜日に開催致します。より内容の濃い研修会を企画中です。

日時・平成二十年二月二日(土)～三日(日)
 会場・箱根湯本富士屋ホテル

事務局からのお願い

日頃より当連合会の運営にご理解いただき、ありがとうございます。

さて、こちら事務局では、今まで「角2サイズの封筒」で発送する書類は、主に郵便でお届けしていましたが、コストダウンを考慮し、ヤマト運輸のメール便を中心に活用すること致しました。会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(社)神奈川県
 私立幼稚園連合会

設立60周年記念大会

平成20年7月31日(木)

パシフィコ横浜・国立大ホール

編集
 後記

世界で四番目に温室効果ガスを排出し、地球温暖化に大きな影響を与えている日本。私たちの体で感じる天候異常、環境問題が話題にのぼらない日はありません。

京都議定書では、九十年比六%の削減義務に
 もかわらず、二〇〇五年度は逆に七・八%増
 加! 中でも学校、オフィスなどを含む業務関
 連施設では、排出量が四四・六%も増加したそ
 うです!!

家庭や幼稚園にも具体的な取り組みが求められ
 ます。環境問題を意識し子どもたちのためにど
 うしたら良いか? 今すぐに積極的な行動を心
 掛けましょう。

(広報室員 室北篤郎)

県連合会日程(第2学期以降)

開催日	イベント名	場所	備考
平成19年	9月5日	人材確保研修会	横浜エクセルホテル東急 事前申込が必要
	9月7日	統合保育基礎講座(第3回)	ヨコハマジャスト 申込は終了しています
	10月19日	統合保育基礎講座(第4回)	// //
	11月14日	後継者育成研修会(第2回)	横浜エクセルホテル東急 事前申込が必要
	11月15日	いじめ問題講習会	かながわ県民センター //
	11月16日	統合保育基礎講座(第5回)	ヨコハマジャスト //
	11月27日	父母の会連合会研修大会	パシフィコヨコハマメインホール -
平成20年	2月2日～3日	教育経営研修会	箱根湯本富士屋ホテル 日程変更あり・事前申込が必要
	3月6日	総会	未定 -

平成19年度神奈川県連加盟園数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
横浜	264	55,849	56,591	-742
川崎	81	22,281	22,284	-3
横須賀	27	5,454	5,462	-8
藤沢	31	5,965	5,974	-9
鎌倉	22	3,320	3,221	99
茅ヶ崎	18	3,549	3,561	-12
湘央	39	6,905	6,956	-51
小田原	12	1,472	1,458	14
相和	27	5,307	5,293	14
相模原	34	7,972	7,500	472
逗葉	7	957	957	0
厚木	20	3,457	3,522	-65
計	582	122,488	122,779	-291

県連設立 1948年(昭和23年)

平成19年7月入会 相模原協会 城山わかば幼稚園
 相模女子大学幼稚部
 津久井ヶ丘幼稚園

発行 社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14
 県青少年課神之木台分館内
 TEL. 045-430-3102 FAX. 045-430-3103

印刷

(有)石黒印刷
 〒232-0056 横浜市南区通町3-50-1
 シティコープ弘明寺101号
 TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036

INFORMATION DATA



新規加盟園情報

県連合会は新規のご入会を歓迎すると共に、入会園を会報上で紹介いたします。新しく仲間入りされた園は次の4園です。会員の皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

①設置者名 ②園長名 ③創立年月日 ④住所 ⑤電話番号 ⑥ファックス番号 ⑦園児数

(社)横浜市幼稚園協会

学校法人南学園
 南幼稚園

①川田 紘文 ②川田 紘文 ③平成19年4月1日
 ④〒245-0067 横浜市戸塚区深谷町456-6 ⑤045-851-0645 ⑥- ⑦59名

(社)相模原市幼稚園協会

学校法人相模女子大学
 相模女子大学幼稚部

①中村 以正 ②須山 英治 ③昭和25年4月1日
 ④〒228-8533 相模原市文京2-1-1 ⑤042-742-1445 ⑥042-742-1445 ⑦335名

学校法人かみや学園
 津久井ヶ丘幼稚園

①井上 信吾 ②内谷 和男 ③昭和54年4月1日
 ④〒220-0204 相模原市津久井町長竹838-1 ⑤042-784-5133 ⑥042-784-7240 ⑦107名

学校法人わかば学園
 城山わかば幼稚園

①小沢 俊通 ②中山 和枝 ③昭和57年4月1日
 ④〒220-0112 相模原市城山町若葉台6-5-14 ⑤042-782-8185 ⑥042-782-8186 ⑦196名